

飛騨市教育委員会 / 小学校 第6学年 国語科学習指導案

1. 単元名 目的や条件に応じて話し合おう「みんなで楽しく過ごすために」
2. 単元の目標

◎思考に関わる語句の量を増やし、話の中で使うことができる。(知(1)オ)
 ◎互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりすることができる。
 (思A(1)オ)

3. 課題解決的に考える単元指導計画

時間	思考の流れ	学習活動	課題解決ポイント	国語科ポイント
1	課題設定能力 計画力	・みんなが納得できる結論、よりよい結論を出せる話し合いとは？ ・地震の頻度、家屋の倒壊、それに基づく避難所生活について課題意識をもつ ・議題を確かめ、目的や条件を考える。 ・学習計画をたてる	導入でいかに自分事として課題意識をもてるか ・数字からの連想 ・数字からの切実感 ・自分の地域の具体を出す	R1.6.18(28、1580) R3.2.13(69、19758) R4.3.16(217、52162) R6.1.1(8789、83154) H23.3.11(121996、748461) 30年以内の発生確率東海地震：87%
2	情報収集力 情報分析力	・議題を確かめ、目的と条件を明確にする ・目的と条件に合わせて、自分の考えを整理する。	資料や情報の取捨選択 ※ある程度、限定しないと広がりすぎて収集がつかない	<話し合いの見通し> ・議題、目的、条件 <考えの整理> ・主張、理由、根拠
3	計画力	・話し合いの仕方を確かめ、進行計画を立てる。 ・話し合いのポイントをつかむ。		◎目的、条件に沿っているか
4	表現力・思考力・判断力	・進行計画に沿って、ポイントを意識して話し合い、仮の結論を出す。		<広げる話し合い> ・自分の立場、主張 ・理由や根拠 ・質問・疑問
		(実際に試す) (話を聞く)	子どもの新たな気づき・本当にこれでよいのか多面的に見たり考えを再構築したりする思考のきっかけ作り ・実際の場合へ行つてのイメージ ・動画や写真による問題提起	<まとめる話し合い> ・共通点、相違点 ・問題点→改善点 ・利点→とりいれる ・組み合わせ、まとめ
5	表現力・思考力・判断力	・試した結果を基に、再び話し合い、最終的な結論を出す。		
6	振り返り改善する力	・話し合ったことを共有して、感想を伝え合う。 ・学習を振り返る。	みんなが納得できる結論、よりよい結論を出せる話し合いをどんな場で生かせるか →日常や総合につなげる	・(知)どんな言葉を使った？ ・(思)広げるまとめるために、どんなことを気を付けた？ ・(主)話し合いで大切なことは？

防災教育を軸とした教科横断的な学習（国語科）指導案

- 1 単元名 6年生国語 目的や条件に応じて話し合おう
「みんなで楽しく過ごすために」

日時：令和6年 月 日 第 校時
学級：6年 組（6年 組教室）
授業者：

- 2 本時のねらい

議題、目的を確認し条件を決めて、話し合いの見通しをもち、主張・理由・根拠をはっきりさせた自分の考えを明確にすることができる。

- 3 本時の展開（ 2 / 6 ）

過程	学 習 活 動	指導・援助												
導入	1. 前時の学習を振り返り、本時の見通しをもつ。 ○前時の資料（写真等）をもとに決めた議題と目的を確認する。 議題 避難所生活で、小6の自分たちにもできることは何か。 （大人は大人のやるべきことをやっている。それぞれの仕事もある。） 目的 避難所でも地域の人が少しでもストレスなく過ごせるよう、自分たちが地域の人の役に立つ。 ○条件となることは何かを明確にする。 条件 ・自分の地域の避難所（〇〇小学校） ・多くのいろいろな人が避難生活をしている。（自分の地区では…） ・お金がかからないこと・新しいものを使わないこと。（自分も被災している。） ・いつなのか（〇月頃） ◇（参考）避難所での困ったことランキング 2. 自分の考えを話す際の整理の仕方を確認する。 ・主張：目的と条件に合う意見、議題に対する自分の立場。 ・理由：なぜその主張がよいと考えるか。 ・根拠：主張を支える事実や体験など。	・単元の目標と学習計画の中の本時の位置づけを確認する。 ・前時に決めた議題と目的を明確にする。その際、資料で使った写真等を提示することで、より具体的な避難所のイメージをもてるようにしておく。 ・条件を決め出す際は、実際に明日にでも動けることをイメージするために、自分の避難所のイメージを明確にもたせる。 ⇒・避難所ごとのグループ分け ・地域にどんな人がいるのか（高齢者・障がい者・幼児等） ・能登のことと関連させて設定を1月する（冬期の対応）など ・理由や根拠にもつながるように、避難所の困ったことランキング、避難所の課題等を提示する。その際、自分たちの力では何ともできないことが多いことも確認する。 ・理由と根拠が混同する人が多いので、言葉の定義をしっかり押さえる。												
	理由と根拠をはっきりさせて、条件に合う自分の主張を考えよう。													
展開	3. 自分の考えを整理する。 <table><tr><td>主張</td><td>みんなが気持ちよく過ごせるように、トイレや玄関などの掃除をする。</td></tr><tr><td>理由</td><td>多くの人が共同で使っているので、汚れるし、衛生環境が大事だと思うから。</td></tr><tr><td>根拠</td><td>普段の学校生活もみんなでするところをグループで分担してきれいにしている。掃除道具も体育館にある。 環境がよくなって、感染症が流行ったということを聞いたことがあり、きれいな環境が大事だと思う。</td></tr></table> <table><tr><td>主張</td><td>救援物資の整理整頓や配布の手伝いをする。</td></tr><tr><td>理由</td><td>救援物資を調達することはできないが、届いたものの整理や配布の手伝いならできる。</td></tr><tr><td>根拠</td><td>テレビでたくさんの物資が届いて大変だということを見たことがある。お年寄りや小さい子のいるお母さんもいるので、運ぶこと自体が大変なので、それを配って回ると助かると思う。</td></tr></table>	主張	みんなが気持ちよく過ごせるように、トイレや玄関などの掃除をする。	理由	多くの人が共同で使っているので、汚れるし、衛生環境が大事だと思うから。	根拠	普段の学校生活もみんなでするところをグループで分担してきれいにしている。掃除道具も体育館にある。 環境がよくなって、感染症が流行ったということを聞いたことがあり、きれいな環境が大事だと思う。	主張	救援物資の整理整頓や配布の手伝いをする。	理由	救援物資を調達することはできないが、届いたものの整理や配布の手伝いならできる。	根拠	テレビでたくさんの物資が届いて大変だということを見たことがある。お年寄りや小さい子のいるお母さんもいるので、運ぶこと自体が大変なので、それを配って回ると助かると思う。	・考えをもつ際のヒントとなるような防災に関する本や、ネットの検索も可能な環境にしておく。 ・早く考えをまとめられた人にも、根拠に説得力があるかや、次時の話し合いでの「質問や疑問」を想定して、考えを深められるような、投げかけをする。 ・考える視点は「目的や条件」であることにいつでも立ち戻り、話し合いに入った際の土台とする。
主張	みんなが気持ちよく過ごせるように、トイレや玄関などの掃除をする。													
理由	多くの人が共同で使っているので、汚れるし、衛生環境が大事だと思うから。													
根拠	普段の学校生活もみんなでするところをグループで分担してきれいにしている。掃除道具も体育館にある。 環境がよくなって、感染症が流行ったということを聞いたことがあり、きれいな環境が大事だと思う。													
主張	救援物資の整理整頓や配布の手伝いをする。													
理由	救援物資を調達することはできないが、届いたものの整理や配布の手伝いならできる。													
根拠	テレビでたくさんの物資が届いて大変だということを見たことがある。お年寄りや小さい子のいるお母さんもいるので、運ぶこと自体が大変なので、それを配って回ると助かると思う。													
終末	4. 根拠となるものは何かを確認する。（事実や体験） 5. より説得力が出る根拠や、質問されそうなところを考えて、さらに情報を集め、考えを深める。 6. 自分の考えを、ロイロノートで提出する。	理由と根拠をはっきりさせて、条件に合う自分の主張を考えている。 思A（1）オ （考えの記述・発言）												